

熊本市上下水道局広報業務委託契約候補者審査基準

熊本市上下水道局広報業務委託契約候補者審査の審査基準に関し、以下のとおり定めるものとする。

1 審査方法

- (1) 「熊本市上下水道局広報業務委託契約候補者選定委員会設置要綱」に基づき「熊本市上下水道局広報業務委託契約候補者選定委員会」において、提案及びヒアリングを基に審査を行う。
- (2) 審査の方法は、審査項目ごとの評価点数の合計点数を競う「プロポーザル方式」により行う。

2 審査手順

- (1) 提案書等受付時に経営企画課(以下「事務局」という。)にて提示金額が提案上限額以内であるかを確認する。提示金額が提案上限額を超えている場合は、その提案書は無効とする。
- (2) 選定委員会の委員(以下「委員」という。)は、提案書等の記載内容を確認する。
- (3) 選定委員会において、提案者に対し、ヒアリングを実施する。
- (4) 委員は、「別表 審査項目」に示した項目ごとに評価する。
- (5) 事務局は、(4)をもとに各委員が評価した点数を提案者ごとに合計し、全委員の合計点数を提案者の得点とする。

3 契約候補者の選定

- (1) 審査の結果、得点の最も高い提案者を契約候補者、次点の提案者を契約次点候補者として選定する。
- (2) 複数の提案者が同点の場合、「提案内容」の合計点数が高い提案者を上位とする。
「提案内容」の合計点数も同点の場合は、委員の協議により選定する。
- (3) 提案者の得点が基準点(委員の人数×100点×60%)に満たない場合、要求する水準に満たないものとして候補者の選定に至らないものとする。

別表 審査項目

別表 審査項目

審査項目		評価の視点	配点	
実施体制	①	業務実施に対する基本方針	基本仕様書及び目的を十分に理解し、業務目的に資する具体的かつ実現可能な企画方針が示されているか。	10
	②	業務遂行能力	業務体制、役割分担が明確に示されており、業務目的に資する遂行体制が構築されているか。また、類似業務の実績が示され、提案内容の実現可能性を裏付けているか。	15
	③	スケジュール管理	基本仕様書の内容を踏まえ、各業務の準備段階を含めたタスク管理が適切に行われ、無理なく効果的に実施が可能なスケジュールとなっているか。	15
		実施体制 小計		40
提案内容	④	熊本市内を対象とした広報	業務目的に資する市内広報の方針が示され、上下水道施設の老朽化が進む現状や経営状況の分かりやすい情報発信において、ターゲット設定、媒体選定、表現の工夫が具体的に提案されているか。 また、熊本市の水道水(地下水)のブランド化を意識した市民向けの広報が提案されているか。	15
	⑤	熊本市外を対象とした広報	業務目的に資する市外広報の方針が示され、「熊本市の良質でおいしい水道水」のPRするため、熊本市の水道水(地下水)のブランド化を意識した広報内容、媒体選定、言語対応、認知拡大の見込みが具体的に提案されているか。	10
	⑥	熊本市中心市街地配水管更新事業に関する広報	業務目的に資する中心市街地配水管更新事業に関する広報の方針が示され、工事の影響とメリットの説明、指定規格に基づくチラシ・ポスター制作、動画活用、周辺店舗や市民への周知方法が具体的に提案されているか。	15
	⑦	イベントへのブース出展	業務目的に資する他団体が主催するイベントへの出展が示され、参加者が関心を持つ、ブース企画、資材準備、ノベルティ、アンケート実施方法が具体的に提案されているか。	10
	⑧	効果測定調査業務	提案された目標値及び効果測定方法が業務内容に沿った明確なものであり、かつ実現が可能で、信頼性のある手法が提案されているか。	10
		提案内容 小計		60
合計(実施体制+提案内容)				100
見積書		見積額が提案内容と照らして著しく妥当性を欠くものではないか。 (著しく妥当性を欠くと判断される場合は失格とする。)	—	

【評価点】審査項目①～⑧について

	10 点配点の項目	15 点配点の項目
非常に優れた提案である	9～10 点	14～15 点
おおむね良好な提案である	6～8 点	9～13点
一般的な提案である	5 点	8点
一般的な提案よりやや劣る	2～4 点	3～7点
一般的な提案より特に 劣る	0～2 点	0～2点